

令和6年度 明神小学校教育に関するアンケート結果

- ・児童、保護者、学校評議員を対象にアンケートを実施（2月）
- ・各項目について4段階（4 よく思う 3 思う 2 あまり思わない 1 思わない）で回答してもらい、肯定（4または3を選択）の割合が80%以上を◎、60%以上を○、60%未満を△で評価した。

質問項目	評価		
	児童	保護者	評議員
1 学校に行くことを楽しみにしていますか。	◎	○	
2 挨拶をしていますか。	◎	◎	◎
3 友達や他人に対して思いやりをもって、優しく接していますか。	◎	◎	◎
4 授業の内容を理解していますか。	◎	◎	
5 家庭学習に進んで取り組んでいますか。	△	◎	
6 読書に進んで取り組んでいますか。	△	△	
7 粘り強く、頑張る姿勢が見られますか。	◎	◎	
8 交通安全に気を付けていますか。	◎	◎	◎
9 学校が休みのとき、外遊びや運動に取り組んでいますか。	△	○	
10 基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）が身に付いていますか。	○	◎	
11 地域の行事に参加していますか。	○	△	
12 いじめられたり、いじめたりしていませんか。	◎	◎	
13 学校は、安全・安心な学校づくりに取り組んでいる。		◎	◎
14 学校は、適切で創意ある学校行事に取り組んでいる。		◎	◎
15 学校は、保護者や地域の願いに応える教育活動を行っている。		◎	◎
16 運動会、参観日等の学校行事に参加していますか。		◎	
17 P T A活動に積極的に参加していますか。		◎	
18 登下校の見まもり活動に積極的に参加していますか。		○	

- 全体的に肯定の項目が多く、落ち着いた教育活動が行われていると評価していただいている。しかし、項目によっては肯定の割合が60%未満の事項もある。60%未満の項目については次ページのように分析した。

<学校による考察と改善方策>

5 家庭学習について

児童への調査の中で「宿題を忘れることがある」を選択している児童が複数おり、60%未満となった。家庭学習の習慣は、中学・高校においても主体的な学習につながる大切な学習である。学校と家庭が連携・協力しながら、家庭学習の充実のための工夫・手立てを講じていきたい。

6 読書活動について

今年度、全校児童が集まって読書をしたり、感想を発表したりする全校読書に取り組んだ。これは、他の児童から刺激を受け、読書の質が変わることをねらいとしている。その結果、本の選択範囲が広がったり、長い文章の本に挑戦しようとしていたりしている。家庭で過ごす時間の一つとして読書が選ばれるよう、来年度も取組を工夫し、実践を続けたい。

9 学校が休みの日の外遊びについて

安全のため、児童だけで友達の家遊びに行くことは難しく、外遊びや運動を行うことが少なくなると考えられる。そのため、学校では、業間・昼休み・放課後、体育科の授業等でよく体を動かすようにしている。今後は、家庭での外遊びにつながるような体育科の授業を実践したい。

11 地域行事への参加について

今年度、敬老会や観桜会、納涼祭などの地域行事が再開された。納涼祭では、PTAによる夜店を出店し、祭りを盛り上げた。多くの児童・保護者に参加いただいた。地域主催のクリスマス会、どんど焼きなどでも、本校児童や保護者が参加している。アフターコロナになり、徐々に地域との交流が活発になってきていると感じる。今後も、学校と地域、家庭が連携し、ともに子どもたちの健やかな心身の成長のために活動を計画し、実施していきたいと思う。

<保護者自由記述>

- ・地域の方が子どもを大事にしてくれて、地域活動の際もよくしてくださっているのでありがたいです。担任の先生も我が子のように接してくださるので安心して学校に行かせられます。
- ・全教職員が、児童一人一人のことを把握してくれているように思います。安心して通わせることができます。